

# 南部中学校区 健全育成会だより

発行 南部中学校区青少年健全育成会事務局 浜松市中央区龍禅寺町706 ☎053-454-4591

## 健全育成会会長 あいさつ



昨年の秋から、暮れ正月まで、穏やかな良い日が続いてきていましたので、学校行事を始め、地域社会の祭典等の行事が、賑やかに予定どおりの活動ができたと思います。

元日早々の午後、能登半島地震が発生し、懸命な救助・救援が続くにつれ、被害規模の大きさが判明してきており、明日は我が身ということもあり、できるだけ支援が望まれます。

被害を受けられた方には、お悔やみお見舞いを申し上げますとともに、長い避難生活になるかと思われませんが、なるべく早く、元の日常に戻れることを願っております。

日本列島、いつでも、どこでも、災害や事故が起きる状況があり、常の備えが必要であり、家庭学校での勉強や運動等での生活をする中にも、防災を考慮した準備が望まれます。

人はそれぞれ耐力・能力・考え方が異なり、児童生徒達には日々の生活の中で様々な活動をし、多くの経験をして、大きく成長されることを願い、皆で協力し合い、個々の小さな努力でも積み重ねることで、明日へ、将来への夢や希望へと進んでいけることを期待しています。

地域の皆様には、青少年に良い声掛け、見守りをしていただいて、これから先の成長へのサポートをよろしくお願い申し上げます。

南部中学校区青少年健全育成会会長  
清水 哲夫

## 健全育成会副会長 あいさつ



皆さんは、甘い食べ物、好きですか。アメ・チョコ・クッキーにケーキ、いろいろな食べ物が思い浮かびますよね。例えばアイス!! いろいろな色や味があって、苺にバニラ・チョコ・オレンジ・ラムネ・小豆・抹茶…。味がコラボレーションしたチョコチップクッキーとか苺ミルクとか。一つの味でも楽しめるし、味が混ざっても更においしくなったりして、ちょっと私たちに似ていると思いませんか。

髪の毛の色や肌の色、瞳の色が違っていても、それは大事な個性であって、そして、その人物に触れたら、その人のもっともっと良い味を知ることができる。もちろん、甘い食べ物が苦手な人もいらっしゃいます。それもその人の個性であり、それぞれが、皆、唯一無二の、その人にしか出すことができない味。

その素敵なたくさんの方々の個性が重なり合ったら、更にいろいろな味の無限大の未来が広がるような、そんな気がしませんか。

数えきれないほどの個性と個性のハーモニーが、今までの私たちでは、想像もできないような味のある人生を、笑顔のあふれる毎日を創り出してくれたらうれしいなあと思います。

南部中学校区青少年健全育成会副会長  
大場 敬丘

生徒が通いたくなる学校・保護者が通わせたい学校・地域が誇れる学校へ

## 南部中学校の取り組み

南中ブログ



校訓である「南中魂」は、「やる気・根気・元気・本気」に表され、あらゆる場面でこの四つの気を持って取り組むことが、南部中学校の目指す生徒像となっています。今年度も、生徒たちはこの南中魂を持って様々な活動に取り組みました。

「二大行事」の一つである体育大会は、会場を「エコパスタジアム」に移して開催しました。学校の運動場とは違う雰囲気の中で、例年以上の盛り上がりを見せました。体育大会の目玉であるスタンプ合戦は圧巻でした。もう一つの文化発表会は、アクトシティ大ホールで開催しました。どの学級も、練習の成果を発揮し素晴らしい合唱を披露しました。特に、3年生の合唱は見ている人に感動を与え、涙を流される保護者の方も多数いらっしゃいました。



▲南中初、エコパでの体育大会

部活動でも、多くの運動部・文化部が活躍しました。特に、水泳競技部2年生の鈴木風優さんが、東海大会に出場し(女子200m平泳ぎ)、健闘しました。また、吹奏楽部は中部日本吹奏楽コンクール本大会に出場し、金賞・中部日本3位である連盟理事長賞を受賞しました。部活動の意義はとても大きいものです。精一杯頑張る南中生に、今後とも変わらぬ応援をお願いします。



▲アクト大ホールでの文化発表会

学校生活の頑張りに加え、今年度も地域の方々から多くのお褒めの言葉をいただきました。特に、3年生の山瀬拓未さんは、倒れている人を発見し、担架で運び、救急車が到着するまで声を掛け続けました。この人命を第一に考えた勇気ある行動が、「青少年の表彰」として中区長より表彰を受けました。

## 双葉小学校 ～運営委員会、保健委員会による、挨拶イベント～

双葉小学校では、運営委員会が中心になって、みんなが元気一杯で明るい挨拶ができるように日々活動しています。そこで、本年度は、11月20日(月)から12月8日(金)までの3週間を「ハローウィーク」として、挨拶についてのクイズを放送したり、ありがとうの手紙を募集したり、朝の挨拶運動に取り組んだりするなど、明るい挨拶を広げるための活動をしました。



また、同時期に保健週間がありました。本年度は、「心の健康～自分も相手も大切にしよう～」をテーマに心の健康について考えました。

挨拶は心が温かくなり、心の健康につながることから、運営委員会と保健委員会と一緒に挨拶運動に取り組みました。「私もやりたい。」と積極的に参加する子もいて、挨拶の輪が広がっています。

今後も、子供たちが、挨拶をすることの意義を感じ、創意工夫を凝らしながら、双葉小学校に明るい挨拶の輪を更に広げていくことができるよう、子供たちを支え、励ましていきたいと思ひます。





## 白脇小学校 ～ 創立 150 周年を迎えて ～

白脇小学校は、今年度創立 150 周年を迎えました。

5 月に、全校児童と教師で運動場に人文字をつくり、航空写真を撮影し、それをクリアファイルにして全校児童に配布しました。

学校の行事それぞれに 150 周年を盛り込んだ取組がなされました。

「創立 150 周年 千人の未来につなげる 明るいあいさつ 白脇小」を児童企画委員会と生活安全委員会が児童会のテーマに掲げ、明るい挨拶の響く白脇小学校を目指して、全校挙げて挨拶運動に取り組みました。

運動会においては、スローガンを「150 周年 思い出に残る最高の運動会 燃やせ白脇魂」と設定し、「創立 150 周年記念競技」と題して「縦割り対抗横綱引き」を行いました。初めての競技に、大人も子供も大興奮の運動会となりました。

音楽会発表会は、「150 周年 届けよう最高の演奏♪ 心を一つに白脇コンサート」をテーマに素敵なハーモニーを奏でました。全校児童が体育館に入ることが難しいため、特別に大きな式典を催すことはありませんでしたが、地域の方々や保護者の皆さんと触れ合う時間が多く、歴史の重みと地域とのつながりをたくさん感じ取ることができた 1 年間だったと思います。

これからも、この白脇小を作っていく子供たちを、地域と育てていきます。



## 竜禅寺小学校 ～学校教育目標の具現化 「ドラゴン発表会」を通して～

本校は、校名の「『竜』禅寺」にちなみ、学習発表会を「ドラゴン発表会」と称しています。

会を催すにあたっては、本校の学校教育目標「夢を持ち、ともに輝く」を具現化するために「子供たちに育てたい能力の指標」に基づいた狙いを定め、企画、準備、本番と実行しました。

まず、企画の段階では、各学年の各教科及び総合的な学習の時間で学んできたことを他学年の児童や保護者・地域の皆様に発表するために、必要な情報を収集し、それらを選択・整理・判断して発表内容に生かすことができました。

また、準備の段階では、より良い発表にするために楽器や歌・せりふや振り付けを繰り返し練習し、粘り強く努力を重ねてきました。

そして本番では、久しぶりに全校児童が体育館に集って、どの学年の発表も直接に生で見ること聴くことができ、互いの良さをしっかりと感じ取ることができました。

会の終了後には、ペア学年同士で感想の手紙をやり取りする活動を通し、いろいろな考え方、自分らしさや取組方があることを理解し、認め合うことができました。

来年度創立百周年を迎えます。子供たち・保護者・地域の方々・職員が「百周年に生きる子供たち」の夢の実現に向けて、一体となって教育活動に取り組んでいきます。



「ひとりひとりにいい声掛けデー」の取組を紹介します。

11月10日（金）あいにくの悪天候の中でしたが、各校で熱心に行われました。

「地域の大人から子供への愛のひと声を！」を合言葉に、安心・安全な地域づくりを目指す活動です。

南部中学校区の各校の取組の様子を写真で御覧ください。

【 南部中学校 】



【 双葉小学校 】



【 白脳小学校 】



【 竜禅寺小学校 】

